

1 基本項目	事務事業名	簡易水道管理事業			担当部署	課名	水道課		
	予算事業名	1.簡易水道一般管理費、2.簡易水道施設維持管理費、3.簡易水道施設整備事業			係名	業務係			
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1013			
	事業期間	開始年度	昭和32年度	終了年度	当面継続				
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち					予算科目	簡易水道事業特別会計
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実					款	1. 簡易水道費
		施策名	18 水道水の安定供給					項	1. 簡易水道管理費
		基本事業名	18-2 安定した水道事業経営					目	1. 一般管理費
根拠法令				アウトソーシング導入状況	導入済（業務委託）				
				総合計画等への記載		総合計画実施計画に記載			

2 事業概要	事業概要	簡易水道事業の運営（維持・管理）	
	対象	①簡易水道利用者 ②簡易水道施設	
	手段 (活動指標)	①使用料の計算、収納事務 ②施設の維持管理、水質検査、漏水修理及び量水器の取替業務。	
意図 (成果指標)	①清浄な水を安定的に供給される。 ②施設が適切に維持管理される。		

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 量水器メーター検針件数	件	2,940	2,546	2,880	2,541	88.2%	2,880
	② 水質検査の実施回数	回	120	120	120	120	100.0%	120
	③							
	① 普及率	%	96.0	94.2	96.0	95.0	99.0%	96.0
	② 水質検査の合格率	%	100	100	100	100	100.0%	100
	③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	7,746,000	5,922,132	9,205,000	8,232,794	39.0%	8,567,000
	②委託料	円	3,210,000	1,687,630	3,221,000	1,991,174	18.0%	3,671,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円	7,000	7,000	7,000	7,000	0.0%	7,000
	⑤その他	円	472,000	319,625	1,293,000	1,164,456	264.3%	515,000
支出合計 (A)		円	11,435,000	7,936,387	13,726,000	11,395,424	43.6%	12,760,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	9,970,000	7,936,387	11,726,000	11,395,424	43.6%	12,760,000
	⑤一般財源	円	1,465,000		2,000,000			
収入合計		円	11,435,000	7,936,387	13,726,000	11,395,424	43.6%	12,760,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	7	9	9	7	-22.2%	7
	②年間所要時間	時間	2,300	2,560	2,500	2,030	-20.7%	2,250
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	9,660,000	10,752,000	10,500,000	8,526,000	-20.7%	9,450,000
総費用(A+B)		円	21,095,000	18,688,387	24,226,000	19,921,424	6.6%	22,210,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	簡易水道取水施設及び配水施設などの維持管理、原水浄水の水質検査、漏水修理及び量水器の取替えなどを行った。 簡易水道利用者に対する使用料の請求及び徴収を行った。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	
対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	上水道事業との統合について、検討する必要がある。
				上位施策への貢献度	2 普通	
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	
				実施主体の適正化	1 適正である	
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	国から地方公営企業法の適用を要請されており、現状のままでは、赤字となることから、使用者の負担金の増額を含めて検討する必要がある。
1次評価 (課長総括)		A	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	2次評価	不要
後の方針	引き続き、事業の効率化と安定した事業運営の継続に努める。水道料金については、一部に見直すべきものもあり、引き続き、検討していかねばならない。上水道との統合についても、粘り強く協議していかねばならない。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	水道管理運営事業			担当部署	課名	水道課		
	予算事業名	収益的収支、資本的収支				係名	業務係		
	事業区分	自治事務				電話番号	0765-23-1013		
	事業期間	開始年度	昭和29年度	終了年度		当面継続	予会計	水道事業会計（収益的支出）及び（資本的支出）	
	総合計画	目標名	基本目標 2 安全で快適な暮らしやすいまち			算科目目	款	収益的支出（1. 水道事業費用）、資本的支出（1. 資本的支出）	
		政策名	7 魅力ある都市基盤の充実				項	款に含まれる項全て	
		施策名	18 水道水の安定供給				目	項に含まれる目全て	
基本事業名		18-2 安定した水道事業経営			アウトソーシング導入状況		導入済（業務委託）		
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画実施計画に記載				

2 事業概要	事業概要	上水道事業の運営（維持・管理）	
	対象	①上水道利用者 ②上水道施設	
	手段（活動指標）	①料金の計算、収納事務 ②施設の維持管理、水質検査、漏水修理及び量水器の取替業務。	
	意図（成果指標）	①清浄な水を安定的に供給される。 ②施設が適切に維持管理される。	

3 指標	指標名	単位	25年度		26年度			27年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 調定件数	件	87,500	88,825	88,000	89,545	101.8%	88,476	
	② 水質検査の実施回数	回	36	36	36	36	100.0%	36	
	③								
	成果指標	① 普及率	%	89.0	89.4	89.0	89.0	100.0%	89.0
		② 水質検査の合格率	%	100	100	100	100	100.0%	100
		③							

4 コスト情報	区分	単位	25年度		26年度			27年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	93,647,000	74,072,488	64,853,000	49,109,008	-33.7%	53,133,000
	②委託料	円	39,340,000	30,389,013	43,354,000	38,429,330	26.5%	44,056,000
	③工事請負費	円	15,040,000	3,718,050	15,040,000	1,669,680	-55.1%	9,950,000
	④負担金補助及び交付金	円			505,000	294,850		462,000
	⑤その他	円	590,553,000	562,567,066	382,101,000	389,088,451	-30.8%	402,025,000
	支出合計（A）	円	738,580,000	670,746,617	505,853,000	478,591,319	-28.6%	509,626,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他（使用料、雑入等）	円	723,610,000	655,809,192	505,853,000	476,244,054	-27.4%	501,224,000
	⑤一般財源	円	14,970,000	14,937,425		2,347,265	-84.3%	8,402,000
	収入合計	円	738,580,000	670,746,617	505,853,000	478,591,319	-28.6%	509,626,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	9	9	9	9	0.0%	9
	②年間所要時間	時間	8,800	9,960	9,900	8,340	-16.3%	9,050
	③人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	36,960,000	41,832,000	41,580,000	35,028,000	-16.3%	38,010,000
	総費用（A+B）	円	775,540,000	712,578,617	547,433,000	513,619,319	-27.9%	547,636,000

5 取組内容	平成26年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	上水道取水施設及び配水施設などの維持管理、原水浄水の水質検査、漏水修理及び量水器の取替えなどを行った。 上水道利用者に対する使用料の請求及び徴収を行った。	

6 評価	評価の視点	H25評価	H26評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	
対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	簡易水道事業との統合について、検討する必要がある。
				上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	効率性	A	A	コスト効率	1 高い	
				実施主体の適正化	1 適正である	
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	簡易水道事業との統合について、検討する必要がある。統合した場合の使用料について、検討する必要がある。また開経手数料についても、委託単価より低額であることから、増額を検討する必要がある。
	1次評価（課長総括）	A	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	2次評価	不要
	後の方針） 評価結果	引き続き、事業の効率化と安定した事業運営の継続に努める。今後、企業債の支払利息の増加に伴う収支の悪化が見込まれることから、自主財源の確保に向け、水道料金の見直しについて、検討していかなければならない。			評価結果	